

# 特許・実用（抄録B）

1/1

【名称】表示装置

特開平11-73142(11.3.16)

【出願／権利者】日本碍子株式会社（愛知県名古屋市瑞穂区須田町

他 3名

【発明／考案者】武内 幸久

G09F 9/37

【出願番号】特願平9-304634(9.11.6)

G02B 26/08

(全 21頁)

【優先権主張】特願平9-60667 1997年3月14日 日本（JP）

H01L 41/09

【要約】【課題】行走査にかかる時間を大幅に短縮できるようにして、高品位の画像表示に容易に対応させるようする。【解決手段】光源から出射される光10が導入される光導波板12と、該光導波板12の背面の周囲に存在するエバネッセント領域120への突入量tを変化させることによって表示階調を制御する。この場合、一对の電極への電圧印加によって光導波板12に接近する方向に屈曲変位するアクチュエータ部を設け、該アクチュエータ部上に画素面積を決定する変位伝達部32の板部材32aを設ける。そして、アクチュエータ部への電圧印加を制御することで、前記エバネッセント領域120への板部材32aの突入量tを変化させて当該アクチュエータ部に対応する画素の表示階調を制御する。

(請求項 13、未請求)

FIG. 14

